

●エネルギー削減の考え方

下水道事業で使用するエネルギーは、浸水対策、合流式下水道の改善などの事業を推進することにより増加が見込まれます。そのため、再生可能エネルギー活用や省エネルギーの更なる推進に取り組み、エネルギー購入量を削減することが、下水道経営においては重要となります。

本プランでは、エネルギー購入量に再生可能エネルギー量と省エネルギー量を加えた量を総エネルギー使用量とします。

エネルギー削減の考え方としては、下図に示すように、総エネルギー使用量に対する再生可能エネルギー等（再生可能エネルギー量+省エネルギー量）の割合を高めていきます。

○ 再生可能エネルギー等の割合のイメージ

